

## 提 案 概 要 (北九州港港湾施設 指定管理者)

団体名： 北九州埠頭株式会社

### 1. 指定管理者としての適性について

#### (1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針

これまで培ってきた港湾施設管理運営業務の経験とノウハウを活かし、一層の事務改善や技術力の向上に努め、北九州港の発展に貢献して参ります。

##### 《港湾施設を管理する上での理念》

「北九州市の港湾行政を支え、北九州港を使いやすく信頼性の高い港にする。」

##### 《基本方針》

- ① これまで培った経験やノウハウ・高い技術力を業務に活かすことにより、経費の節減に努めるとともに、利用者の立場に立った安全・確実・迅速なサービスを提供します。
- ② 各埠頭の現状、多種多様な港湾施設の設置目的や特徴及び利用実態などを踏まえて、施設の有効活用に努めます。
- ③ 人材の育成を強化するとともに、施設利用に係るマニュアル化を推進することで、効率的で質の高い管理運営と施設の平等利用に努めます。
- ④ 日常の事故防止に向けて、安全対策を徹底します。
- ⑤ 電気機械設備の予防保全対策や災害時の復旧対策等を充実することにより、港湾物流の定時性を確保できる安全安心な港づくりを目指します。
- ⑥ 関係諸法令を遵守するとともに、高い倫理観を持った職員を育てることで、個人情報の適正な管理など、コンプライアンスの徹底に努めます。

#### (2) 安定的な人的基盤や財政基盤

■本社及び管理運営業務に従事する係長以上の職員は25年から34年の港湾業務経験者で、施設性能維持業務に従事する職員のうち3分の2は11年から31年の港湾業務経験者です。

■当社の技術職員は、長年の経験から特殊技術やノウハウを有したベテラン職員が揃っており、故障に際しては、メーカーに依存することなく、短時間での故障復旧を実現しています。

■当社の令和3年度決算の繰越利益剰余金は約3億8千万円で、自己資本比率は65%、流動比率も475%と非常に高く、財政基盤は安定しています。

#### (3) 実績や経験など

■昭和55年から北九州市港湾施設管理運営業務を受託しています。

■昭和60年から北九州市港湾施設性能維持外業務（ガントリークレーン等）を受託しています。

■自主事業として、田野浦埠頭岸壁船舶給水販売事業や若松久岐の浜駐車場管理運営事業、北九州リサイクルポート施設運営事業、田野浦荷さばき施設管理事業等を行っています。

■第3種電気主任技術者、電気施工管理技士、電気工事士、非破壊試験技術者、クレーン運転士、消防設備点検資格者、建築設備検査員、特定建築物調査員等の多数の資格を有しています。

## 2. 管理運営計画の適確性

### 【有効性】に関する取組み

#### (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

- 広大な港湾施設を効率的に管理運営するため、門司地区、小倉地区、洞海地区の各埠頭の現状を踏まえ、埠頭別に重点項目を定めて業務を推進して参ります。
- 指定管理業務仕様書に細かく規定された業務内容については、「指定管理業務計画概要」に従って計画的に実施します。
- 利用者の増加や利便性向上策については、有料港湾施設と無料港湾施設に分けて対策を講じます。有料港湾施設は未利用港湾施設の有効活用、無料港湾施設は門司港レトロやフェリーターミナル周辺地域、小倉・響灘地区の緑地（公園）等の美化活動に努めて参ります。
- 施設間の有機的な連携については、太刀浦コンテナターミナルの一元管理や、門司地区と小倉・洞海地区との連携、指定管理対象施設と対象外施設の一元的管理により、事務の簡素化や利用者サービスの向上を図ります。

#### (2) 利用者の満足度向上

- 利用者の満足が得られるための取組みとして、①利用者の要望事項に対する迅速な対応、②港湾施設の維持管理へのドローンへの活用、③電気・機械設備等の復旧時間の短縮、④タブレット型端末の導入による情報共有や対応の迅速化等により、利用者サービスの向上に取組みます。
- 港湾管理事務所やクレーン管理事務所での受付や電話対応マニュアルの活用、定期的に接遇研修を行うこと等により、利用者への接客サービスの向上に努めます。
- 港湾施設の通常使用許可による全利用者を対象にアンケート調査を実施して、利用者の意見や要望を把握し、改善策を講じるとともに、進捗状況等の情報提供を行います。
- 苦情や要望については、相手とのコミュニケーションを図り、誠意をもって対応します。また、施設整備費の低廉化に努め、迅速な対応に努めます。
- 情報提供については、当社ホームページの「ニュース」欄において情報提供を行うとともに、許可の更新案内等の重要案件は、郵送により個別に連絡します。
- 除草・剪定等については、引き続き発注単位の見直し等によるコストの低廉化に努め、環境維持や美観向上を図ります。また、投棄物や廃棄物の回収、清掃を行うことで美観維持に努めるとともに、ボランティアの清掃活動へ積極的に参加するなど、美化活動の実施に努めます。

### 【効率性】に関する取組み

#### (1) 指定管理料

- 本業務は利用料金制ではないため、すべて指定管理料で運営することになります。そのため、最小の経費で最大限の効果を得ることを念頭に置き、経費の節減に努めます。
- エリア拡充対象の小倉・洞海事務所における市職員の減員に伴い、当社対応業務が増加しますが、本社のバックアップ等により、増員は最小限に抑制します。
- 年間1億2千万円を超える光熱水費については、門司地区での経験を活かし、省エネタイプの機器の導入を提案するなど、経費削減策の検討を行います。
- 指定管理業務仕様書に示された個別業務の内容を精査し、当社直営業務を拡大するとともに、外注業者との細かな詰めを行うことにより経費の削減に努めます。

《様式6》

## (2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

- 門司地区の指定管理業務で得た経験とノウハウを最大限に活用し、ベテラン職員の配置や定時性確保による無駄なコストの抑制、支出経費の削減等を踏まえた収支計画としています。
- 経費配分については、人件費の割合が33%程度となっておりますが、同一業種のサービス業の売上高人件費率の平均値(40%~60%)を下回ることから適正であると考えます。
- 人件費は、人員配置計画に基づき、職員の実質賃金を計上しました。
- 施設維持管理経費は、当社のこれまでの支出実績や外注業者からの見積りにより積算しました。
- 指定管理業務の再委託に関しては、再委託理由を定め、再委託の際の基本的な考え方に従って委託します。

## 【適正性】に関する取組み

### (1) 管理運営体制など

- 事業統括部長を管理責任者とし、固有職員19名、嘱託職員26名の合計45名体制で当該業務を遂行します。事業統括部長は、クレーン管理事務所長経験者で、港湾施設管理運営業務及び施設の維持管理業務全般についての高度な知識と経験を有しています。
- 現場の責任者は全て固有職員とし、クレーン管理事務所、港湾管理事務所の門司、太刀浦、小倉、洞海事務所の各所長には、港湾経験8年~30年の中堅からベテランの職員を配置します。
- 職員研修は、全職員共通の研修と業務によって内容が異なる専門研修に分けて実施します。
- 技術系の職員には、電気工事士や建築設備検査員など多種多様な資格取得支援を行います。
- 太刀浦コンテナターミナルのターミナルオペレータや荷役会社、北九州港事業推進連絡会メンバーとの連携強化等、海事・港湾関係団体との連携を強化して参ります。

### (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- 当社の個人情報保護方針及び個人情報保護規程に基づき施設利用者の個人情報を保護します。
- 港湾施設の管理業務に係る職員の研修を充実させるとともに、法令等基本的事項の遵守徹底や施設利用に係るルール化を促進することで、港湾施設の平等利用に努めます。
- 社員に対する安全指導や教育を徹底するとともに、日常業務として行う巡回や点検において問題箇所を早期に発見して、被害の未然防止に努めます。また、事故発生時の対応や防犯・防災対策については、策定したマニュアルに沿って迅速かつ適正に処理します。
- 災害時は、市の地域防災計画に準じて作成した、当社の危機管理計画に基づき対応します。また、北九州港事業継続計画(北九州港BCP)とも連携してガントリークレーン等の点検や応急復旧を行います。

## 提案額 (千円)

令和5年度	665,652千円
令和6年度	665,610千円
令和7年度	665,619千円
令和8年度	665,657千円
令和9年度	665,655千円

※ 提案概要は、提案書の内容を2枚程度(A4)にまとめてください。